

第10分科会「危機対応」運営概要

【研究課題】

様々な危機への対応と未然防止の体制づくりにおける校長の在り方

【研究の視点】

- 1 いじめ・不登校への適切な対応と体制づくり
- 2 高い危機管理能力の育成と未然防止に向けた組織体制づくり

I 分科会研究協議の運営計画

子どもたちを取り巻く環境は急激に変化し、学校が対応しなければならない危機は、風水害などの自然災害のみならず、多岐にわたっている。特に、いじめ、不登校、暴力行為等生徒児童上の問題は依然深刻な問題となっており、児童虐待の増加や携帯電話、スマートフォンなどによるネットいじめなど、これまでとは違った新たな課題が生じてきている。

学校は、子どもたちが自己実現に向けて学ぶ場でなければならない。そして、教職員は子どもたちの安全を守り、安心して学習や諸活動に取り組むことができる環境を整備する必要がある。そのために、学校は事件・事故等の未然防止や適切な対応など学校危機管理体制の確立とともに、教職員及び子どもたち一人一人の危機対応力を高めることが求められる。

校長は、教職員が様々な危機に対応できるように、危機管理意識を高めるとともに、学校の危機管理体制の充実・改善を行う必要がある。また、保護者や地域、関係機関との連携・協働により、共に子どもの安全・安心を確保していく体制を作ることが重要である。

本分科会では、様々な危機から子どもの生命と安全を守る対応の在り方と危機の未然防止のための具体的な方策と成果を明らかにする。

視点1 いじめ・不登校への適切な対応と体制づくり

- ・児童の悩みや相談を学校全体で取り上げる組織的な取組
- ・児童に関わる幅広い情報収集と多面的な理解を図る取組
- ・生徒指導の機能を生かし、関わり合う力を育む教育活動の推進

視点2 高い危機管理能力の育成と未然防止に向けた組織体制づくり

- ・関係諸機関との情報共有や連携を重視した組織的な指導の推進
- ・地域・家庭・関係機関との連携を図り、児童の自主性と連帯感を育む取組

II 第10分科会のこれまでの成果と課題に関して ＜昨年度（平成30年度）北海道函館大会より＞

【成果】

①いじめ・不登校への適切な対応と体制づくりについて

「AFPY」の5つの視点を軸にした教育活動により、いじめ防止、豊かな心や人間性の育成を明確にした授業づくりが大きな効果を発揮している。

②高い危機管理能力の育成と未然防止に向けた組織体制づくりについて

「家庭や地域との協働体制の構築」での「PTCA」の取組は、「社会に開かれた教育課程」の視点からも参考になる事例であり、危機管理の面でも、学校と家庭・地域との情報共有、情報収集や関係機関との連携の大切さが確認された。

③校長の果たすべき役割と指導性の在り方について

まず、校長がリーダーシップを発揮することや他校との目的や方法の足並みを揃えることが、教職員の危機管理への課題の共有化と意識を高めることにつながる。

【課題】

①いじめ・不登校においても、様々な危機への対応や関係機関との連携においても、教職員の危機管理意識を高め、普段からあらゆる場面で組織としての動きを大切にしていかなければならない。

②校長は、組織体制に対する教職員の意識を高め、学校力を強化していくことが危機管理の第一歩であり、さらに他の関係機関を含めた連携強化に努めなければならない。

Ⅲ 研究発表の概要

- ◇研究発表者 空知地区 三笠市立三笠小学校 岡山 宏文 校長
『学校の安全・安心の確保を目指す学校経営』
～児童・生徒の健全育成と危機管理の推進における校長の在り方～

◇発表趣旨

空知管内小学校64校の各校長へのアンケートや各市町の実践事例をもとに、いじめ・不登校等への適切な対応と体制づくり，高い危機管理能力の育成と未然防止に向けた組織体制づくりについて，様々な側面から解決の方策とその成果を明らかにする。

Ⅳ 協議の流れ（13：00～16：30）

1	開会・日程確認	13：00～13：05	（5分）
2	趣旨説明	13：05～13：15	（10分）
3	研究発表	13：15～13：40	（25分）
4	全体協議	13：40～14：00	（20分）
			…研究発表に対する質疑・応答
5	休憩	14：00～14：15	（15分）
6	グループ協議	14：15～15：35	（80分・休憩含む）
			…討議の柱に沿った意見交流
7	グループ発表	15：35～16：10	（35分）
			…1グループ3～5分の発表
8	まとめと今後の課題	16：10～16：25	（15分）
9	連絡・閉会	16：25～16：30	（5分）

V 討議の柱

- 【視点1】いじめ・不登校への適切な対応と体制づくり
＜柱1＞いじめ・不登校等を防ぐ組織の在り方について
＜柱2＞いじめ・不登校等の対応にかかわる校長の指導性について
- 【視点2】高い危機管理能力の育成と未然防止に向けた組織体制づくり
＜柱1＞危機管理意識を高める協働体制の構築について
＜柱2＞危機管理体制の確立にかかわる校長の指導性について

キーワード

- ・未然防止 ・組織的対応 ・危機管理能力の育成 ・組織体制
・家庭，地域，関係機関との連携 など

Ⅵ お願い

- ◇グループ内で名刺交換を行いますので，名刺10枚程度をご持参ください。
◇グループ内での司会・記録をお願いする場合があります。その際は，どうぞよろしくお願いいたします。
◇各地区・各校の現状や取組についてグループで協議・交流いたします。
◇地区・自校で本分科会のテーマに即した取組等がありましたら，A4：1枚程度に端的にまとめ15部程度お持ちよりください。
◇服装は，ノーネクタイ＋上着ありのクールビズを基本といたします。

文責：出口哲也（岩見沢市立岩見沢小学校）